

## 情報科学部のディプロマ・ポリシー

情報科学部では、情報システム技術者として情報科学の学問領域の発展に貢献するとともに、地域社会の構築・発展に貢献することのできる高度な情報技術と総合的思考力を身につけることを目標とする。

大項目	小項目	学士(情報科学)	
1. 知識・理解	①情報一般の原理・人間社会・情報システムに関する知識の理解	情報科学の典型的な課題、情報社会における倫理・法令、ヒューマンインターフェース、ソフトウェア工学についての知識を理解している。	
	②コンピュータで処理される情報の原理の理解	(a)数理的基礎の理解	代数、解析、幾何、確率・統計、離散数学、応用数学についての知識を理解している。
		(b)情報処理の基礎の理解	情報理論、アルゴリズム、データ構造、形式言語、オートマトン、各種情報処理技術についての知識を理解している。
	③情報を扱う機械についての知識の理解	コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム、コンピュータネットワークについての知識を理解している。	
	④コースごとに分かれて身につける知識の理解	(a)情報システムコース	ネットワーク、セキュリティ、並列分散処理、センサー等に関する知識を理解している。
(b)シミュレーション科学コース		システム同定、数理モデル化、ビッグデータ処理、センシング等に関する知識を理解している。	
(c)知能メディアコース		情報コンテンツ、視聴覚情報処理、知識情報処理、言語情報処理等に関する知識を理解している。	
(d)ロボティクスコース		ロボット運動制御、システム統合技術、自律システム、知的情報処理等に関する知識を理解している。	
2. 汎用的技能	①コミュニケーション	自らの考えを口頭や文章で的確かつ効果的に表現することができる。また、文化や習慣、思想などの違いを踏まえて他者の考えを尊重することができる。	
	②情報処理・計算・データ分析	データを分析してそこに潜在する一般法則を帰納することができる。また、形式的なモデルを用いて新たな事実を演繹することができる。	
	③ソフトウェア構築	情報科学の諸問題を解決するために、既存のソフトウェアを活用することができ、また、問題解決ための手法をプログラミング言語を用いて実装できる。	
	④論理的思考・計算論的思考	情報や知識を複眼的視点から分析し、概念化・モデル化・形式化・抽象化を行うことができる。	
	⑤課題発見・問題解決	自然界や人間社会における様々な問題を情報科学の立場から捉え、必要な情報を収集・分析・整理し、問題を解決することができる。	
3. 志向態度	①チームワーク・リーダーシップ・チャンス活用	集団の中で自らの役割を理解し協調的に行動することができる。また、目標実現のために先導的に行動することができる。	
	②情報倫理	情報一般の原理を自覚して情報社会に積極的に参画するとともに、個人および社会に対する情報の意義や危険性を読み解き、社会においてルールを遵守しつつ情報を利活用することができる。	
4. 統合的な学習経験と創造的思考力		獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題を解決することができる。	